



体側に並ぶ淡色の横帯が特徴的。汽水域に生息する。オスの成魚。北潟湖産 全長：約8cm

ハゼ科 マハゼ属

【全長】9cm

アシシロハゼ

学名：*Acanthogobius lactipes*

分布域

日本全国に分布する。

生息域

汽水域や内湾。
泥底～砂泥底を好む。



中型のハゼの仲間。北潟湖産 全長9cm

体側に10本前後の比較的明瞭な白色横帯があり特徴的。成熟したオスは第1背鰭の軟条が糸上に伸長する。幼魚はマハゼとよく似て識別が難しい。食性は雑食性で底生動物や付着藻類を食べる。産卵期は5～9月と長く、数回に分けて産卵する。卵は水底の転石や貝殻の裏面に産み付ける。オスは孵化するまで卵を保護する。

水槽での飼育は可能。海水10%程度の汽水を用いる。(塩分濃度に対する順応性は高い様である)。餌は冷凍赤虫や配合飼料に慣れる。性格的にも温和で多種との混泳も問題ない。夏期には北潟湖の砂底部で比較的多くの生息を確認出来る。

在来種

汽水魚

※ 福井県内では、生息地・生息数とも比較的少ない。ただ、北潟湖では6～9月に浅い砂底部で多くの個体を確認できる。